

公演概要

一般社団法人 日本文化創成協会

ファンタジー オーケストラミュージカル
再演 「スサノオと美琴～古事記～」

主催：一般社団法人 日本文化創成協会 会場：東京建物 Brillia HALL

開催日・開演時間：2020 年 6 月 6 日(土) 13:00～・18:30～、7 日(日)13:00～

チケット代 (税込み)：S 席 12,000 円、A 席 10,000 円、B 席 6,000 円 一般発売：2020 年 5 月 1 日 (金)

台本・演出：杉本 凌士

作 曲：日高哲英

総 監 督：井戸輝雄

芸術監督・指揮：坂本和彦

プロデューサー：岡田秀春

キャスティングプロデューサー：成田忠幸

一般社団法人日本文化創成協会は、日本の文化を創成し日本のみならず世界に発信して行く為に立ち上げ、旗揚げ公演を 2017 年 7 月 7 日オペラ「ひかりのゆりかご」をめぐろパーシモンホールで、オペラ界から中鉢聡 他、ミュージカル界から石丸推菜、芸能界から「どぶろっく」のお二人を迎え、女性だけで奏でるレディースオーケストラ G-Dream21 の演奏で新感覚オペラを上演しました。2017 年 9 月 2 日には新国立劇場オペラパレスにて故 市川森一原作の三部作ドラマティック古事記の二部を西島数博、真矢ミキ 等を招き行い、2018 年 8 月 29 日には、総勢 60 名に及ぶレディースオーケストラ G-Dream21 の演奏で、新鋭作曲家 日高哲英が作り出す音楽と、心に響く舞台を数多く創作する杉本凌士の台本・演出により、現代に生きる美琴 (11 才男の子) が日本創生期・神の時代にタイムスリップしてスサノオと三種の神器探しの旅に出るというファンタジー作品を新国立劇場オペラパレスにて初演しました。今回は、スサノオ役には舞台「弱虫ペダル」や TV・舞台「男水！」等に出演し、劇団☆新感線「髑髏城の七人」無界屋蘭兵衛役を務め今最も注目の役者 廣瀬智紀が引き続き主演を務め、美琴役には加藤憲史郎、アマテラスには元宝塚のトップスター月影瞳、クシナダ役に澤田真里愛、イザナギノミコトにはミュージカル界の重鎮 岡幸二郎、オモイカネノカミには ブラザートムを起用し、オペラ界より老舗 藤原歌劇団の面々、踊りは小林紀子バレエ・シアターとコラボレーションし、音楽と踊りと演劇が一体となり感動を伝えます。主役の廣瀬智紀、加藤憲史郎を中心に、新たなキャスティングとブラッシュアップした内容でお届けします。

【台本・演出】杉本 凌士 (すぎもと りょうじ)



熊本県人吉市出身。自身が主宰を務める劇団メンソウルでは、脚本・演出・出演。外部でも多くの作品を手掛ける。2010 年、2011 年には、ミュージカル作品「絆 (東京国立中劇場) の脚本。2013 年「ウィリアム・シェイクスピア」「無名塾」公演にて脚色・演出。2015 年「妖精の丘」脚色・演出 (第一生命ホール)。2016 年「クロードと一緒に」脚色・演出 (新国立劇場小劇場) 他、多数。

【作 曲】日高 哲英 (ひだか てつひで)



作曲家／編曲家。東京音楽大学作曲科、同大学院修士課程修了。作曲を西村朗、指揮を三石精一、尺八を横山勝也に師事。多くの演劇やラジオドラマ、映画作品の音楽を手がける。また、コンサート作品の作曲、編曲、指揮など、さまざまな音楽活動を展開している。



【芸術監督・指揮】坂本 和彦 (さかもと かずひこ)

日本オペラ振興会会員指揮者。公益法人とし未来文化財団音楽監督。日本指揮者協会監事及び事務局長。東京音楽大学 (指揮科)、同付属高校講師。チューリッヒに留学、音楽院、同地歌劇場にて 4 年半に渡り研鑽。1994 年には、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団、ベルリンドイツ交響楽団にて研鑽。2012 年にはローザンヌにて、スイスロマンダ管弦楽団と共演。皇居にて行われた天皇陛下即位 20 年、御成婚 50 年をお祝いするにあたり作曲された「太陽の国」(東京都交響楽団、EXILE 歌唱) の御前演奏の指揮者を務めた。東京都より平成 27 年度の文化功労賞を受賞。

【出演者】



スサノオ 役：廣瀬 智紀（ひろせ ともしき）

俳優。1987年2月14日、埼玉県出身。スターダストプロモーション所属。舞台『弱虫ペダル』巻島裕介役や舞台『私のホストちゃん』鳳条夕妃役、舞台『ダイヤのATHE LIVE』降谷暁役等で注目を集め、劇団☆新感線『髑髏城の七人』Season 月 無界屋蘭兵衛役、映画『HiGH & LOW THE MOVIE 2/3』MARCO 役や『映画刀剣乱舞』鶯丸役、大人の土ドラ『仮面同窓会』（東海テレビ・フジテレビ）片岡八真人役に出演し活躍の場を広げている。今年は映画『貴族降臨-PRINCE OF LEGEND-』ヤス・ミッシェル役が公開。これからの公開予定は映画『HERO〜2020〜』主演・飯塚広樹役と映画『鹿沼』が控えている。モバイルファンクラブ「MY FAMILIES」、アメブロ「My Rule」も更新中。



伊那美琴 役：加藤 憲史郎（かとう けんしろう）

劇団ひまわり所属。神奈川県出身、2007年生まれ。幼少の頃より、映像、舞台で活動。主な出演作に、舞台では2012年に『ミス・サイゴン』で初舞台、『スクールジ〜クリスマス・キャロル〜』（2013、15、19）、『ピーターパン』（2013）、『エリザベート』（2016、19）、『プリシラ』（2016）、『メリー・ポピンズ』（2018）、『モーツァルト！』（2018）、『るろうに剣心』（2018）、『ラブ・ネバー・ダイ』（2019）、TVでは大河ドラマ『西郷どん』（村田新八幼少役）（NHK）、声優として映画『メリー・ポピンズリターンズ』日本語吹替版（ジョン役）、CMでは「トヨタ自動車 2代目こども店長」などがある。



アマテラス 役：月影 瞳（つきかげひとみ）

長野県上田市出身。元宝塚歌劇団・娘役トップスター。1990年「ベルサイユのばら」で初舞台。入団2年目で新人公演、初ヒロインを演じる。1997年「誠の群像」で星組トップ娘役となる。その後雪組に組替えし引き続きトップ娘役としてミュージカルやショーなどで活躍する。2002年に「愛燃える/Rose Garden」で退団。その後は、舞台を中心にコンサート、映画など多方面にて活躍中。上田市観光大使、上田映劇理事を務めている。



イザナギノミコト 役：岡 幸二郎（おか こうじろう）

福岡県出身。劇団四季にて「オペラ座の怪人」「ジーザス・クライスト＝スーパースター」「クレイジー・フォー・ユー」等に出演。主な出演作は「レ・ミゼラブル」「ミス・サイゴン」「1789〜バステューの恋人たち〜」「ロミオ&ジュリエット」「プロデューサーズ」「タイタニック」「グランドホテル」等があり、抜群の歌唱力とその華やかな容姿で存在感を示している。近年オーケストラとのコンサートの他ライブやトークショーでも活躍。日本コロムビアから4枚のCDを発売。北陸朝日放送「ぎゅっと石川 ゆうどき Live!」準レギュラー。九州大谷短期大学客員教授。



オモイカネノカミ 役：ブラザートム

1956年2月23日生まれ。ハワイ州マウイ島出身。

『お笑いスター誕生!!』（NTV）に小柳トムの名で出演『お巡りさんコント』を披露し、グランプリ獲得。その後1991年、バブルガム・ブラザーズとしてNHK紅白歌合戦に初出場。現在は、ミュージシャン、タレント、俳優、ラジオパーソナリティー、絵本作家など多彩な分野で活躍。近年の主な出演作に、映画「翔んで埼玉」「記憶屋」「とんかつDJアゲ太郎」、舞台「天国の本屋」出演の他、ラジオ「キリン一番搾り One More Pint!」（NACK5）パーソナリティを担当。



クシナダ姫 役：澤田 真里愛（さわだ まりあ）

2010年に丸美屋食品ミュージカル「アニー」アニー役にてミュージカルデビューを果たす。音楽劇「赤毛のアン」アン役から後に、サンリオピューロランド内フェアリーランドシアター「赤毛のアン」プリシー役をつかむまでに。また活動の場は演技のみに限らず、舞台「帝都探偵奇譚ジゴマ2」、2.5次元舞台「ROSE GUNS DAYS」での歌唱パフォーマンスや、ゲーム「キコニアのなく頃に」では主題歌を担当。2020年春配信／声優活動ディレクションゲーム「BATON=RELAY」では声優にも挑戦し、マルチな器用ぶりを発揮するまでに成長。歌声の魅力は各関係者の目にとまり、サンリオ発ドリミーファンタジー「ミュークルドリーミー」テレビ東京系列にて放送のOP主題歌・ED曲を担当。今後の活躍に注目が集まる。



タマノオヤノミコト役：木村 優一（きむら ゆういち）

熊本県大津町生まれ。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。聖徳大学大学院博士前期課程修了。2008年〜2009年イタリアにて研鑽を積む。2016年8月クラウンレコードよりCDアルバム「MY WORLD〜奇跡の声〜」でデビュー。2017年以降、テレビ東京『カラオケバトル』に出演している。2017年、2018年、ピアニスト小原孝氏と、ジョイントリサイタルを連続して行った。2018年1月、5月と2019年8月、恩田陸 原作「蜜蜂と遠雷」より千住明監修「コトダマの音楽会」に出演し家入レオ・三浦大和らと共演。2017年5月からFM熊本で被災地支援番組『木村優一みんな Smile Let's Sing 唄わんかい!』のパーソナリティを務めている。音楽を通じた社会貢献活動も行

っている。



機織り女 役：辰巳 真理恵

東京音楽大学卒業、同大学大学院修了。東京二期会オペラ研修所修了。高校2年の春、父・辰巳琢郎の出演する宮本亞門演出ミュージカル『キャンディード』に出会い、医学部志望から音大音楽科志望へと180度の方向転換を決行する。2016年東京二期会公演『フィガロの結婚』にて二期会オペラデビュー。以降、東京二期会『こうもり』イダ役、東京オペラ・プロデュース『ラインの妖精』（日本初演）妖精役、『ロメオとジュリエット』ステファノ役などに出演。透き通る清らかな歌声に父親譲りの芝居心を兼ね備えた、今後を期待される若手ソプラノである。2018年キングレコードより、デビューアルバム『Ba,Be,Bi,Bo,Bu(バ・ベ・ビ・ボ・ブユ)』をリリース。八王子FM

「辰巳真理恵の Ba,Be,Bi,Bo,Bu supported by ALBION」では、パーソナリティを務め好評。



小林紀子バレエ・シアター

クラシカル・バレエ・カンパニーとして1973年に小林 功によって設立。日本を代表するプリマバレリーナ小林紀子をはじめ、これまでに国内外で活躍する数多くの優秀なバレエ・ダンサーを輩出。2008年のアシュトン振付「バレエの情景」、ド・ヴァロア振付「ザ・レイクス・プログレス」、小林紀子 版「パキータ」の公演では平成20年度文化庁芸術祭大賞を受賞。近年ではマクミラン版「眠れる森の美女」、「マノン」、そして「アナスタシア」の日本初演に加え、小林紀子による新版「くるみ割り人形」を初演するなどし、その成果に対し舞踊批評家協会賞（2012）を受賞している。現在カンパニーの芸術監督を務める小林紀子は、1983年より芸術監督に就任。



レディースオーケストラ G-Dream21

音楽大学を卒業し、実力を有する女性ソリストを集結したオーケストラ G・Dream21、強さ・弱さ・逞しさ・優しさ・・・すべてと共存する女性の集まり。クラシックだけに限らず、ポピュラーから日本の民謡まで、ジャンルにとられない独自の演奏、自然や心の安らぎをイメージした緑色を基調としたコスチュームに包まれた彼女達が女性ならではの柔らかさと強さで魅せる音楽を響かせる。



藤原歌劇団合唱部

藤原歌劇団合唱部は、日本初の本格的なオペラ公演団体「藤原歌劇団」（1934年創立）に所属し、同歌劇団の長い歴史と共に数多いオペラの舞台上で活躍を続けている。藤原歌劇団公演以外にも、NHK 招聘イタリア・オペラの全公演（第1回～第8回）やNHK ニューイヤー・オペラコンサート、サントリーホール記念ガラ・コンサートをはじめとする各種コンサートへの出演など合唱部独自の活動も多く、学校の音楽鑑賞プログラムや、企業イベントにも出演するなど活躍の場を広げており、その成果をあげている。その他にEUジャパンフェストで、アイルランドのコーク市に招かれ海外公演で成功を収めるなどその統率された歌唱力と緻密な演技力で高い評価を得る。

（その他の出演者）

イザナミノミコト：鳥木弥生、アシナヅチ：鈴木康夫、テナヅチ：安達さおり、アメノウズメノミコト：醍醐園佳、アメノアコヤメノミコト：鈴木健之、アメノタチカラオノカミ：井出司、タケシ：遠藤孝太郎、ヒロシ：長谷川心真、マサシ：小濱凜恩、メグミ：増嶋風佳

【あらすじ】

伊那美琴は島根に住む11歳の男の子。彼は学校帰りのある日、黄泉比良坂（神話上、現世と黄泉の国の境目と言われる坂）を訪れ、光り輝く不思議な石（勾玉）を拾う。そこへ同じ学校のイジメッ子達が現れ、美琴は思わず巨石に登ってしまう。その瞬間、イジメッ子達は巨石の向こう側に吸い込まれ、美琴は日本の創成期、神の世界にタイムスリップしてしまう。

途方に暮れている美琴だが、そこへ現れたアマテラスに「三種の神器がないと黄泉の国には行くことが出来ない」と告げられ、友達を救う為に三種の神器を探すことを決意する。そこにスサノオが現れる。高圧的なスサノオは美琴を半ば強引に母親探しの旅に付き合わせ、二人は目的の違う旅に出ることになる。しかし最初は暴れん坊だったスサノオだが、美琴と出会うで徐々に変わっていく。旅の途中、スサノオは世にも美しい女性クシナダに出会い一目惚れする。しかし彼女はヤマタノオロチの生贄になるというのではないのか。二人はヤマタノオロチを退治に向かう。そして…

幼くとも勇気と信念を持ち、正しい行いを繰り返す人間である美琴に、神であるスサノオが心を動かされる『人間の在り方を問う』ジャパニーズファンタジー。

【主な登場人物】

スサノオ	日本神話に登場する神。 ここでは美少年のイメージ。母に捨てられたと思いきみ、我儘で聞かん坊だが何故か人間の美琴とウマが合う。 随所に神としての威厳を見せる。
伊那美琴	引っ込み思案。幼き頃に母を亡くし、父と二人暮らし。 実は踊りが上手いが、クラスでは仲間はずれにされている。 スサノオの幼き頃と似ていてアマテラスは出会った時に一瞬スサノオと勘違いする。
アマテラス	スサノオの姉。綺麗で優しいがスサノオに手を焼いている。
クシナダ姫	後のスサノオの妻。スサノオが一目惚れする。ヤマタノオロチに襲われるところをスサノオに助けられる。
イザナギノミコト	スサノオとアマテラスの父。
イザナミノミコト	スサノオとアマテラスの母。美琴の母と二役。
アシナヅチ	クシナダ姫の父。
テナヅチ	クシナダ姫の母。
オモイカネノカミ	アマテラスを誘い出す美琴のアイデアに賛同し美琴を後押しする。
アメノコヤメノミコト	天岩戸の前で祝詞を唱える。
アメノウズメノミコト	神々の中で天岩戸の前で最初に踊った芸能の神。
アメノタヂカラヲノミコト	腕力・筋力を象徴する神。天岩戸をこじあけアマテラスを出した。
タマノオヤノミコト	天岩戸にしめ縄をかけた神様。
機織り女	スサノオのイタズラに驚き死んでしまう。
タケシ	イジメッ子のリーダー格。
ヒロシ	イジメッ子の中で「ドラえもん」のスネ夫的な存在。
マサシ	やはりタケシの太鼓持ち。
メグミ	美琴を守ろうとする唯一の女の子。

この件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-5-40 PEGASUS AOYAMA 110 号室

一般社団法人日本文化創成協会 <http://japan-culture.jp/>

電話 03-6804-6807 E-mail info@japan-culture.jp